

第1回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議【概要】

日 時：令和5年10月20日（金）9時55分～11時10分

場 所：埼玉県第2庁舎10階 北側会議室

出席者：堀口議長、高柳副議長、都丸委員、浪江委員、本多委員、小平委員、山下委員

1 会議の進め方

- ・この会議の目的は、今後の基本構想等の議論の土台になる事柄について県と市のコンセンサスをまとめることにある。
- ・施設のコンセプトや整備など施設そのものについての議論のほか、同時並行で検討すべきことも含め議論していきたい。

2 これまでの検討経過等の確認

- ・昭和60年度のテクノグリーン構想以来、検討を続けてきたが、現行5か年計画に北部地域振興交流拠点の検討推進が位置づけられたことを踏まえ、昨年度から産業振興機能について有識者による検討委員会を設置するなど、本格的な検討を再開した。
（建設予定地及び周辺の現況について確認）

3 想定される機能に関する主な発言

- ・県としては、従前から検討してきた産業振興などとしての機能に加え、「DXを前提とした未来のオフィス」「地域機関の集約」の先行モデルとして検討を行いたい。
- ・また、移転に当たっては、現在のオフィスをそのままの形で移転するのではなく、利用者にとっての利便性向上やバックオフィスの効率化、働き方改革など、デジタルの力で新たな付加価値をつける工夫が必要である。
- ・市としては、シビックコアの視点や分庁舎方式の課題解消などの観点から国・県と連携して市民の利便性や業務効率を向上させる方策を検討するとともに、DXによりオフィス環境を改善し、時代に即した形にしていきたい。

4 その他確認事項

- ・北部地域振興交流拠点に移転する施設については、その跡地利用も同時並行で検討する必要がある。
- ・事業手法としては、直営、指定管理者制度、PFI、定期借地など様々な方法があるが、できる限り民間のノウハウを活用してコスト削減やサービス向上を図るべきであり、最適の方法を議論していく。新たな整備手法であるLABVにも注目をしていく必要がある。